

燕の職人として 手作りキセルを作りたい

昨年9月に燕市へ移住し、キセルを製作している岩浪さんを紹介します。2月には東京・GINZA SIX^{ギンザシックス}で開催された「煙管フェア」^{キセルフェア}に出品。製作実演も行うなど、少しずつ活動の幅を広げています。

「キセルの魅力は、紙巻きたばこよりも経済的で、味や香りが良いほか、工芸品としても素晴らしいところにあると思います」
大学院在学時からキセルを愛用していた岩浪さん。卒業後、独学でキセルを作っていたが、懇意にしていた喫煙具界隈の知人から燕市の企業を紹介されたことをきっかけに、埼玉県から燕市への移住を決めました。実は、燕市はキセルの一大産地でした。その歴史は約200年に及ぶとされ、最盛期には金物づくりをしていた人たちの約半数がキセルを作っていたそう。時代の流れとともに職人の数は減り、日本でキセルの製造・販売をしているのは、市内企業1社のみとなりましたが、「粹」な文化の象徴として、愛好家たちから根



いわなみ りく
岩浪 陸さん（白山町二丁目）

● キセル職人



▲岩浪さんの作品。「六張煙管」という屋号は、自身の名前と、煙管を作ることを意味する「張る」を掛け合わせ「六（陸）が作る煙管」という意味合いでつけられました。

4月7日(木)午後7時30分より、NHKBSプレミアム「いいじゅー!!」にて、岩浪さんの移住後の暮らしの様子が放送されます。ぜひご覧ください。

強い人気を誇っています。「たまに職人さんたちのところへ遊びに行き、雑談したり、分からないことを教えてもらったりにしています。その中で得た知識や技術が新しい模様のヒントになり、移住前にはできなかったキセルを作れるようになりました」
岩浪さんのキセルは「六張煙管」^{ろくばりきせる}という名で都内の販売店に卸すほか、インターネットでも販売しています。
「六張煙管の特徴は、伝統的なフォルムと、新しく自分らしい模様です。現在、キセルを作っている人は金工やジュエリー出身で何人かいますが、伝統的なフォルムを守っている職人さんは燕にしかいません。私も燕のキセル職人として、頑張っていきたいです」

おかけさまで 県央エリアご利用 **10,000** 世帯

高速光インターネット

NCT 光

好評受付中!

インターネット 300Mbps + ケーブルテレビ + 固定電話

光おとく割 キャンペーン 月額 **6,600**円 (税込)

※NHK受信料は含まれていません。表記の価格は税率10%に基づく税込金額です。
※各種キャンペーンの適用には条件がございます。

インターネット・ケーブルテレビ・電話
エヌ・シー・ティ **0120-080-009** 電話受付時間 **9:30~17:30** (ドコモ光タイプCに関しては10:00~19:00)
※上記時間以外・土日祝・年末年始は時間外受付に転送されます。

※この広報紙は、環境にやさしいベジタブル・オイル・インクを使用しています。

▲こちらは有料広告です。